

2019.10.7

夢洲新産業創造研究会 第4部会 提言

## 万博を活かした関西の成長戦略

### ○2025年万博が目指すべき姿～

- (1) 子供たちにとって楽しい万博
- (2) わが国や世界が抱える課題の解決
- (3) 地方創生と東京一極集中の是正
- (4) 関西経済の復活

# 1. 目指すべき万博の姿

## (1) 子供たちがみて楽しい万博。世界中の子供の交流の場

- 誰も参加できて誰もが楽しめる万博

## (2) わが国や世界が抱える課題の解決

- 2025年問題: 団塊の世代が後期高齢者入り
- 2025年の崖: 日本のIT産業が様々な課題に直面
- SDGsのゴール: 2030年
- Society5.0: 経済成長と社会的課題の解決

## (3) 地方創生と東京一極集中の是正

- 平成は東京一極集中の時代
- 新時代は地方創生により東京一極集中を是正

## (4) 関西経済の復活

- 関西経済の地盤沈下を止め、再び存在感の発揮を目指す
- 豊富な産業基盤・学術基盤を活かしたイノベーション都市
- IR等も活用したグローバルなMICE都市
- 世界有数の観光資源を活用した先進的な観光都市
- 関西のイメージ戦略・ブランド戦略の推進 (例) 歴史・活気・斬新・人情と温かさ・洗練などをうまく融合
- 万博効果を各地に波及させるためのインフラ整備
- ナイトタイムエコノミーの充実(夢洲の24時間化)
- 世界中の有望な人材に活躍の場を提供
  - ・ベンチャー企業、中小企業、元気な高齢者、若手など、年齢・性別・立場を超えて
- アジア屈指の都市圏に相応しい万博
  - ・東京を過度に意識しないでグローバル都市圏を目指す
  - ・既に世界は都市圏の時代。関西もグローバル都市圏競争に勝てるような地域を目指して万博を推進

## 2. 検討すべき対応策

### (1) SDGsのビジネス化

- CSR的な存在から、持続可能なビジネスへ脱却
- Society5.0の実現・実装の場に
- SDGsを考慮した万博の調達：日本からスタンダードの発信
- バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進

### (2) 夢洲を世界最高水準のスマートシティへ

- スマートシティ輸出ビジネスを展望
- キャッシュレス、MssS、5G等の実装

### (3) 万博をきっかけとした新商品・新サービスの提供

- 関西の大学が持つ高度なナレッジを商品化

### (4) 関西の強み(伝統文化や地場産業)とITの融合

- フードテック、メドテック、アグリテック、観光テックなど

### (5) 関西らしい楽しく明るい万博

- エンタメと真面目さの融合、真面目に不真面目なことをする

### (6) 国際的なMICE都市・高級リゾートとしてのイメージの醸成

- G20サミットと万博2回の実績を世界にアピール

### (7) 万博のコンテンツの発信ビジネス

- リアルなコンテンツとヴァーチャルなコンテンツの融合

### (8) 建物以外のレガシー

- 万博をきっかけに「新語」「新制度」「新慣習」を作る
- 防災・防犯等もレガシーに

### (9) 誰もが参加できる万博(ネットとリアルの双方活用)

### (10) 技術だけでなく文化やライフスタイルもコンテンツ

### (11) 日本初・世界初をアピール

### (12) 新たなまちづくりのスタイルの確立(ウォーカビリティ、市民の早期巻き込み)

### 3. 最後に～

関西ではIRやうめきた2期など多くのプロジェクトが進行中。これらと万博を両立させるためには以下の観点が重要

- (1)幅広い層の人材登用(世界中から・性別を超えて)
- (2)特区の積極的活用、適切なゾーニング
- (3)関西全体のみならず国との協力関係の構築
- (4)海上輸送・新交通システム等を活用した渋滞対策、混雑対応
- (5)幅広い意見を吸収する仕組みの構築(勝手連等を支援、交流・コワーキングプレイスの設置等)
- (6)アニメやメディア等を活用した機運醸成
- (7)海外の人々へのおもてなし、関西ファンを作っていくための対応
- (8)災害発生時の対応(関西他の地域への誘導、非常食等の確保)